



# 松蔭 校長室だより

一校長から保護者の皆様へのメッセージですー

2023年 3月 1日 発行

松蔭中学校・松蔭高等学校  
校長 浅井宣光

わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。希望はわたしたちを欺(あざむ)くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。

(ローマの信徒への手紙 5:3~5 高校卒業式 式次第の聖句)

## 高等学校卒業生へのメッセージ

「本日の卒業式が近づく日ごとに、皆さんの姿を思い浮かべては、高校での生活が、一人ひとりにどのような意味を持つのだろうかと考えていました。歴史上に間違いなく記録される出来事が起こり、現実にもその渦に巻き込まれた3年間でしたから。さらに、30、40、50、60歳と年齢を重ねたとき、子供の世代、孫の世代の若者に向かって、高校時代をどのように物語るのだろうか、未来に生きる皆さんの姿も想像しました。

10年ほど前から社会、世の中の変化の在り方を喩えて、先行き不透明な時代、パラダイムシフトの時代などと表現することが増えました。テクノロジーの進化によって、生活、学習、仕事などあらゆる分野で変革の大きな波が私たちに押し寄せています。ユーチューバーが職業として認知されていますが、この動画共有サービスで一般ユーザーが収入を得ることができるようになったのは、今から10年程前のことです。小学生がなりたい職業の一つになるなど、誰が想像したでしょうか。ネット関連事業で急成長してきた楽天という企業が、社内の公用語を英語とする方針を発表したのもこの頃です。Uber Eatsの日本デビューは、皆さんが小学校6年生の頃。ソフトバンク、ロート製菓、レノボジャパン、ユニ・チャーム、コニカミノルタ、丸紅、日産自動車。日本を代表するこれら企業は、約3年前から次々と社員の兼業、副業を認めるようになりました。肩書の異なる何種類もの名刺を持ち歩きながら、走り回る10年後の皆さんの姿も想像します。ロボットやAIが、人間が携わる多くの仕事に取って代わるという話も聞いたことがあるでしょう。人生百年時代を迎え、長く生きることが当たり前になり、60代はまだまだ現役世代、70代も働くことが普通になりました。携わる職業を軸に、生涯を通じて社会生活、家庭生活をバランスよく設計し、実現する取り組みをキャリアデザインと言いますが、農業の二毛作、三毛作のように何種類もの仕事に関わりながら、人生をデザインすることもふつうのことになります。

「VUCA(ブーカ)」の時代、という言葉があります。アルファベットでVUCA。Vは、Volatility(変動すること)。UはUncertainty(不確実なこと)。CはComplexity(複雑なこと)、Aは、Ambiguity(曖昧なこと)。4つの頭文字を並べてブーカと呼んでいます。一言でいうと「先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態」を意味します。まさに皆さんはそのVUCAの時代を生き抜かねばならないのです。地球温暖化に伴う気候変動や自然破壊。異常気象、台風や地震の災害、さら現在進行中のウクライナのような戦争に世界各地の地域紛争。日本をはじめ先進国では少子化、高齢化の問題も深刻になっています。そのような時代を逞しく生き抜く皆さんに、ヒントとなるような事柄を2点、お話したいと思います。

皆さんは、松蔭で高校課程の学修に励むと同時に、さまざまなジャンルの総合学習に取り組まれました。振り返りますと、人間の多様性や人権、平和について学ぶ様々なプログラムがあり、関連する講演会や授業を受けられました。私の知る限りで、松蔭史上、最も広く、深く、多彩に学びと気付きの時間を持たれたと思います。セクシャルマイノリティの僧侶の授業からは、現在政治問題化しているLGBTQについて、先駆けて考えることができました。ユニークフェイスの活動家の授業、フードバンク活動家の授業をはじめ、ダウン症の親子の会のお母さんの講演も聞きました。本日ご臨席の千と勢会のトーマス会長は、子育てのなかで困難に直面した時に、松蔭の母教会、聖ミカエル教会での神様との対話が救いになったという体験をお話してくださいました。

出生前診断、自らの障害や子供の障害と向き合い共に生きること。震災による心の傷を癒すドクターの姿。これら社会の現

実を自分事として考えるプログラムから、皆さんは「人間の価値」「生きる意味」「人間の多様性」について考え、何かを感じてこられました。いつも傍らにあった「人はそれぞれの歌を持つ」という学年標語は、皆さんの心の深いところで、これからも生き続けていくように思います。

先日、皆さんの総合学習のまとめ冊子をいただきました。その中に、ウクライナで起こっている現実に触れたコメントも寄せられていました。戦争の現実を感じるのが少ない現在の日本に生きる私たちは、想像力をより一層働かせなければなりません。中東地域を中心に活動するジャーナリストの西谷さんの授業は高1と高3で2回にわたってありました。湾岸戦争・イラク戦争が、議会での一人の少女のウソの証言がきっかけとなったという衝撃的な話も、地道な国際貢献を継続すれば「平和は後からついてくる」という言葉も記憶に刻みました。ミサイルを発射するボタンが今まさに押されようとする瞬間に、このミサイルが落ちる場所にも同じ人間がいて、その人を愛する家族がいる。このような「感性」が、皆さんには、着実に培われているのではないでしょうか。「人間の価値」「生きる意味」「多様性」「平和を追求する感性」を自分事としてきた皆さんには、それらを語る資格が十分にあります。将来、身の回りで、または遠く離れた場所で、それらが脅かされそうになった時、声を上げて行動できる人であることを確信しています。皆さんお一人おひとりの「心の内」に松蔭で「学んだ経験」と「培われた感性」があるのです。不透明で何が起こるか分からない時代を逞しく生き抜くヒントの1つだと思います。

2つめのヒントです。

“Open Heart Open Mind”言うまでもなく、松蔭のスクールモットーです。”Open Heart”は、元々は、松蔭の校長であった英国人女性で、エセルホールの名前の由来となったエセル・ヒュースが唱えた言葉です。彼女は、1911年から1921年までの10年間、校長を務めました。柔らかく鷹揚な人柄の彼女は、生徒や保護者とざっくばらんに語り合う女性でしたし、一方で、生徒に神様の愛を語り、祈りの時間を大切にする宣教師でした。

当時の社会状況は、現在と同様に、いやはるかに不安定で混沌としていました。彼女が校長に就任する前年の1910年、日本は韓国を併合し、皇民化政策など植民地支配を推し進め、その余勢を駆って中国東北部（当時の呼び方で満州）への進出も画策しました。校長となって3年目の夏には、第一次世界大戦が勃発し、母国の英国も、教師・宣教師として暮らす日本も同盟国として参戦しました。4年に及ぶ戦いで1600万人もの兵士が戦死しました。その後のロシア革命、革命に干渉するシベリア出兵にも両国は参加しました。軍事中心の国家主義の社会風潮は、学校教育にも影響を及ぼし、個人の自由よりも国家や全体の利益が優先されました。1918年秋、スペイン風邪の世界的流行が神戸でも猛威を振るい、記録によると市内では、1日200人近い死者が出て火葬場が不足し、各地で遺体の野焼きが行われていました。コロナの医療崩壊の現実を経験した私たちにとって、社会の混乱ぶりや、命を守れるのかという不安感がいかほどであったか、容易に想像できます。エセル校長が目当たりにした日本と世界の現実、それまでとは比較にならないほどに不透明で不確実でした。その時、松蔭生に彼女が説いた”Open Heart”すなわち「心を開くこと」は、単に何でも受け入れることではありません。物事、人の言葉を自分の目でしっかりと見極め、他者をリスペクトしつつ自由な精神で批判的に受けとめながらも、自分が為すべき事を準備していくことです。「心を開いて、思いを自由に」。エセル校長には、生徒が自立し、周囲の変化、社会の変化に柔軟に対応できる力を身に付けてほしい、という願いを持っていました。私たちは、スクールモットーの精神を、原点に戻って噛みしめたいと思います。皆さんには、この学校で学んだ、「人間の価値・意味・多様性」や「平和」に対する「感性」、そして“Open Heart Open Mind”の精神がそなわっています。この2つをいつまでも傍らに人生を歩まれることを願うものです。」

(2023年3月1日 松蔭高等学校 第75回卒業式 校長式辞より一部抜粋)

### 3月～新年度初めの行事予定

校内での主な行事の予定です。詳細は、各学年からの連絡でご確認ください。

3月 1日(水) 高校卒業式 高2生徒参列(他学年は自宅学習日)

3月 2日(金) 学年末考査(～7日)

3月 4日(土) PTA第3回運営委員会 中3GS フィリピン研修より帰国

3月 8日(水) 自宅学習日

- 3月 9日(木) 短縮授業期間(～15日)
- 3月10日(金) お誕生日礼拝 阪神淡路大震災碑巡り(希望者)
- 3月11日(土) 中3心臓検診 中学英語レシテーションコンテスト
- 3月12日(日) Blue Earth Project「MBS ちゃやまちプラザ」啓発イベント(NPOで活動する卒業生とともに)
- 3月16日(木) 球技大会 大掃除
- 3月17日～18日 自宅学習日
- 3月20日(月) 中学3年卒業式予行(他学年自宅学習日)
- 3月22日(水) 終業式 中学卒業式 松蔭賞授賞式(中1、中2、高1、高2)
- 3月23日～ 春休み
- 4月 1日(土) 中学新入生オリエンテーション 高校入学生ガイダンス
- 4月 3日(月) 文化祭りハーサル
- 4月 7日(金) 入学式(中学・高校入学生)
- 4月 8日(土) 始業式(全校生) 8:45 朝礼